

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : 亜りん酸粒状2号  
会社名 : 全国農業協同組合連合会  
担当部署 : 肥料農薬部  
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F  
電話番号 : 03-6271-8285  
Fax 番号 : 03-5218-2536  
E-mail : zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡先番号:03-6271-8285

使用上の制限 : 肥料

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
発がん性	区分1A
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(呼吸器系)、区分2(腎臓)

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	皮膚刺激	H315
	重篤な眼の損傷	H318
	発がんのおそれ	H350
	呼吸器系の障害のおそれ	H371
	長期にわたる、又は反復暴露による呼吸器系の障害	H372
	長期にわたる、又は反復暴露による腎臓の障害のおそれ	H373

##### 注意書き

###### 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)  
粉じん／煙を吸入しないこと。(P260)  
取扱い後手及び顔をよく洗うこと。(P264)  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)  
保護手袋／保護衣／保護メガネ／保護面を着用すること。(P280)

###### 【応急措置】

皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。(P308+P313)  
 直ちに医師に連絡すること。(P310)  
 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。(P314)  
 特別な処置が必要である。(この SDS の 4. 応急措置を参照)(P321)  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。(P332+P313)  
 汚染した衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)

**【保管】**

施錠して保管すること。(P405)

**【廃棄】**

内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること。(P501)

**3. 組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名(又は一般名) : 吸着複合肥料

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
亜リン酸塩	非公開	非公開	非公開	非公開
珪藻土(焼成品) (シリカ(石英、クリストバライトを含む)、酸化アルミニウム、酸化カルシウム、酸化鉄を含む)	非公開	非公開	非公開	非公開
その他	非公開	非公開	非公開	非公開

\* 各法令通知対象に該当する成分情報については『15. 適用法令』参照

**4. 応急措置**

**吸入した場合**

空気の清浄な場所に移動し、うがいを行う。  
 刺激等の異常が認められる場合には医師の診断を受ける。

**皮膚に付着した場合**

衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石鹼を用いて十分に洗浄する。  
 刺激等の異常が認められる場合には、医師の診断を受ける。  
 汚れた衣類は再使用の前に洗濯しておく。

**眼に入った場合**

速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。  
 刺激等の異常が認められる場合には眼科医の診断を受ける。

**飲み込んだ場合**

水で口腔内を洗浄する。多量の水を飲ませる。  
 被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。  
 速やかに医師の診断を受ける。

**5. 火災時の措置**

**消火剤**

水、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂

**火災時の特定危険有害性**

高温に加熱すると分解して、有毒で可燃性のガスを発生する。

**特定の消火方法**

火災時には初期消火に努め、大量注水を行う。  
 周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

**消火を行う者の保護**

必ず自給式呼吸器と火災の状況に応じた保護具を着用する。

**6. 漏出時の措置**

**人体に対する注意事項**

適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して、風上で作業する。  
眼や皮膚との接触は避ける。  
屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

#### 環境に対する注意事項

河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

#### 除去方法

粉塵が飛散しない方法で可能な限り密閉可能な容器に回収する。  
回収残渣や少量の漏洩物は、濡れ雑巾等で拭き取るか、大量の水で洗い流す。  
漏洩物には異物が混入している可能性があるため元の容器には戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。作業後には手や顔を十分に洗浄する。  
的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。  
作業着は再使用前に洗濯する。

#### 保管

乾燥した場所に密封保管する。

### 8. 暴露防止及び保護措置

#### 設備対策

作業環境が汚染されないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、あるいは全体換気を適切に行うことが必要。

#### 管理濃度

製品自体についての管理濃度(作業環境評価基準(昭和63年労働省告示第79号))は設定されていないが、粉塵については管理濃度  $0.1 \text{ mg/m}^3$ (遊離珪酸含有率 20%の粉塵として)が設定されている。

#### 許容濃度

日本産業衛生学会及び ACGIH は製品自体に対する許容濃度を設定していないが、日本産業衛生学会は吸入性結晶質シリカに対して  $0.03 \text{ mg/m}^3$ 、珪藻土等(第1種粉塵)に対して吸入性粉塵:  $0.5 \text{ mg/m}^3$ 、総粉塵:  $2 \text{ mg/m}^3$ 、酸化鉄等(第2種粉塵)に対して吸入性粉塵:  $1 \text{ mg/m}^3$ 、総粉塵:  $4 \text{ mg/m}^3$ を勧告している。また、この他に ACGIH が許容濃度を設定している成分も含む。

#### 保護具

呼吸器用の保護具 : 防塵マスク  
手の保護具 : ゴム手袋  
眼の保護具 : 安全ゴーグルを着用する。  
皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理的状态

形状 : 粒状  
色 : 類白色  
臭い : 無臭  
pH : データなし

#### 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし  
融点/凝固点 : データなし  
分解温度 : データなし  
引火点 : データなし  
発火点 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
比重/密度 : データなし  
溶解性

水に対する溶解性 : データなし  
オクタノール/水分配係数 (log Pow): データなし

### 10. 安定性及び反応性

#### 安定性

正常な状態で保管している場合には安定。  
避けるべき条件  
高温  
避けるべき材料  
酸化剤  
危険有害な分解生成物  
高温に加熱すると分解して、有毒で可燃性のガスを発生する。

#### 11. 有害性情報

##### 急性毒性

経口 LD<sub>50</sub> : >2000 mg/kg (♀マウス)(類似製品を用いた試験結果)<sup>1)</sup>

##### 皮膚腐食性・刺激性

区分 1C に分類される酸化カルシウムを区分 2 のカットオフ値範囲で含有するため区分 2 とした。

##### 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分 1 に分類される酸化カルシウム、酸化鉄を合計でカットオフ値以上含有するため、区分 1 とした。

##### 遺伝毒性

Ames 試験 : 陰性(類似製品を用いた試験結果)<sup>1)</sup>

##### 発がん性

区分 1A に分類されるシリカをカットオフ値以上含有するため区分 1A とした。

##### 特定標的臓器毒性(単回暴露)

区分 1(呼吸器系)に分類されるシリカ、酸化カルシウムを合計で区分 2 のカットオフ値範囲で含有するため区分 2(呼吸器系)とした。

区分 2(全身毒性、消化器)に分類される酸化カルシウムを 1% 以上含有する。(カットオフ値未滿)

##### 特定標的臓器毒性(反復暴露)

区分 1(呼吸器系)に分類されるシリカ、酸化カルシウム、酸化アルミニウム、酸化鉄を合計でカットオフ値以上含有し、区分 1(腎臓)に分類されるシリカを区分 2 のカットオフ値範囲で含有するため、区分 1(呼吸器系)及び区分 2(腎臓)とした。

#### 12. 環境影響情報

弱酸性物質、還元性物質を含んでおり、COD に影響を与える場合がある。

#### 13. 廃棄上の注意

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国連番号、国連分類

番号 : 非該当

クラス : 非該当

##### 輸送の特定の安全対策及び条件

積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。

容器は乱雑に取扱わない。

#### 15. 適用法令

##### 肥料取締法

登録番号 生第 89454 号(PK 粒状肥料 2 号)

##### 毒物及び劇物取締法

非該当

##### 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9): 189 酸化アルミニウム、190 酸化カルシウム、192 酸化鉄、312 シリカ

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9): 189 酸化アルミニウム(≤20%)、190 酸化カルシウム(≤10%)、192 酸化鉄(≤10%)、312 シリカ(結晶性シリカ、≤20%)

##### 化学物質管理促進法(PRTR)

非該当

##### 水質汚濁防止法

指定物質(法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)を含む

## 16. その他の情報

### 参考文献

- 1) OAT アグリオ株式会社社内試験報告書  
MSDSnavi(日本ケミカルデータベース株式会社、2016)

### 連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

### 責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。

本 SDS は、下記 O A T アグリオ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名 : O A T アグリオ株式会社  
住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階  
担当部署 : 品質保証室  
電話 : 088 (684) 0220  
FAX : 088 (686) 7055  
緊急連絡先電話番号 : 03 (5283) 0251 (本社)